

令和5年度入試（令和4年度実施）の情報開示  
出題意図について

|                          |                      |
|--------------------------|----------------------|
| 入試の区分                    | 帰国生徒選抜・社会人選抜         |
| 学部学科等                    | 人文学部                 |
| 教科・科目名                   | その他／ 小論文             |
| 正解・解答例<br>又は出題<br>(面接)意図 | (出題意図)<br><br>別紙のとおり |
| 備 考                      |                      |

## 解答例及び出題意図

### 問一 解答例

現代は、個人的なものが商売のターゲットにされる時代である。趣味でさえ「お膳立て」されて、型にはまったコースが用意されている。そこでは面倒な手順を飛ばして、いきなり楽しい部分を疑似体験できるので、我々はそれが「自分の求めているもの」であり、また、自分の希望に近い「自分」にも手軽に近づけるかのように錯覚しやすい。だがそれは、用意されたシステムが見せてくれる、ゲームと同じバーチャルな「幻想」にすぎないので、現実に戻ったとき、我々は「自分を見失う」感覚にとらわれる。実際の趣味と違って仮想体験の中では、自分がどう変化し、成長したのかという実感が希薄だからだ。(280字)

### 問二 出題意図

次の二点を満たしているかどうかを評価の基準とする。

- ・問一の解答例に示したような著者の主張が的確に踏まえられていること。
- ・リアルな経験ができるようで、実は誰かがお膳立てした疑似体験に過ぎないことについて、あるいは疑似体験そのものの是非について、自身の経験や具体例などを絡めて説得的に述べられていること。